

1 教育目標

(1) 本校の教育目標

一 校 訓 一 「 やさしく あかるく かしこく 」
優しく、元気で、よく学ぶ 南っ子の育成

目指す学校像

児童も職員もやりがいを感じ、笑顔輝く学校
確かな学力、健やかな心身を養う学校
安全・安心で、信頼される学校

目指す児童像

自他のよさを認め合い、思いやりのある子
心身ともにたくましい、元気な子
よく考えて、自ら表現し、意欲的に学ぶ子

目指す教師像

受容と共感の姿勢で、児童に向き合う教師
向上心を持ち、指導力のある教師
協働し、学校づくりに積極的に関わる教師

(2) 経営方針

全教職員の共通理解と協働体制の下、児童、教職員ともに自分らしく生き生きとチャレンジし、思いを実現することができる学校を目指す。

- 児童理解に努め、一人一人のよさを認め、自他を大切にする心豊かな児童の育成を目指す。
- 研修を通して教師の指導力向上を図り、自ら学ぶ楽しさを実感させる授業を展開し、**表現力の向上に努める**。
- 安全、安心に生活できる環境整備、心身の健康づくり、各種マニュアルの整備や訓練を通して事故防止に努め、安全に生活しようとする児童の育成を目指す。
- ICT機器の導入を促進し、その有効な活用方法を研究・工夫しながら、「G I G Aスクール構想」の活動を継続する。
- 全職員が各教育活動の意義を意識し、学校運営への参画意識を高める。

(3) 本年度の重点努力目標

ア 確かな学力の習得

- ・ 分かる喜び、**表現する楽しさ**を実感できる授業を展開する。
- ・ 現職教育を充実させ、互いに学び合い、指導力を高める。
- ・ 専科による授業を推進し、基礎学力の確実な定着を図る。

イ 各教育活動の意義を意識した、諸活動の改革を進める。

- ・ **学校行事や集会活動、各学年の様々な活動について、改めて有効な活動の仕方を検討し、教育活動の活性化を図る。**

ウ 学校安全の推進

- ・ 各種マニュアルの整備を進め、シミュレーション重ねることで、危機意識を高め、命を大切にする態度や能力を養う。

エ 児童支援体制の充実

- ・ 支援体制を整え、全職員が共通理解のもと、特別支援教育の充実に取り組む。
- ・ **悩みを抱えた児童の理解を深め、通級指導教室やほっとルームの運営を通して、居場所づくり、絆づくりに努める。**

オ 教育活動の改善、教育環境整備

- ・ 校務の効率化を図り、教職員が協働して、心身にゆとりある職務遂行に努める。
- ・ 教師のICT活用能力を高める研究や研修を進め、ICT機器を活用した授業実践を引き続き推進する。